

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／資産複合	
信託期間	2022年12月27日まで（2012年4月10日設定）	
運用方針	ファンド・オブ・ファンズ方式により、信託財産の成長を目指して運用を行います。	
主要運用対象	国際オルタナティブ戦略 Q T X - ウィントン・アルファ・インベストメント・オープン（円ヘッジなし）分配型	外国投資法人である Q T X W C M G D P F u n d が発行する円建の外国投資証券（Q T X W C M G D P F u n d（日本円建て、ヘッジ無））、マネー・プール マザーファンド受益証券
	Q T X W C M G D P F u n d（日本円建て、ヘッジ無）	世界各国の先物取引等に係る権利および金融商品取引所上場（これに準ずるものを含みます。）株式
	マネー・プール マザーファンド	わが国の公社債
運用方法	・主として、世界各国の様々な先物取引を活用するとともに、世界各国の株式にも投資を行います。 ・ウィントン・キャピタル・マネジメント・リミテッドが提供する「マネージド・フューチャーズ戦略」および「株式運用戦略」を活用します。	
主な組入制限	・投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。 ・株式への直接投資は行いません。	
分配方針	毎年3、6、9、12月の27日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、収益分配方針に基づいて分配を行います。分配対象額の範囲は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して、分配金額を決定します。（ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないこともあります。）	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。

償還報告書（全体版）

[満期償還]
国際オルタナティブ戦略 Q T X - ウィントン・アルファ・インベストメント・オープン（円ヘッジなし）分配型



第42期（決算日：2022年9月27日）
信託終了日：2022年12月27日



受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、「国際オルタナティブ戦略 Q T X - ウィントン・アルファ・インベストメント・オープン（円ヘッジなし）分配型」は、この度、信託期間を満了し、償還の運びとなりました。ここに謹んで運用経過と償還内容をご報告申し上げます。
今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先	
お客さま専用フリーダイヤル	0120-151034 （受付時間：営業日の9:00～17:00、土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）
お客さまのお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。	

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○最近10期の運用実績

決 算 期	基 (分配落)	準 税 分	価 込 配	額 み 金	期 騰 落	中 率	債 組 入 比	券 率	債 先 物 比	券 率	投 資 組 入 比	信 託 券 率	純 資 産 額
	円 銭			円		%		%		%		%	百万円
34期(2020年9月28日)	7,438			0		△ 5.3		—		—		94.9	418
35期(2020年12月28日)	7,373			0		△ 0.9		—		—		95.2	293
36期(2021年3月29日)	7,961			0		8.0		—		—		94.9	308
37期(2021年6月28日)	8,094			0		1.7		—		—		94.9	196
38期(2021年9月27日)	8,291			0		2.4		—		—		95.0	199
39期(2021年12月27日)	8,189			0		△ 1.2		—		—		95.0	194
40期(2022年3月28日)	9,423			0		15.1		—		—		95.2	221
41期(2022年6月27日)	10,533			300		15.0		—		—		94.9	224
42期(2022年9月27日)	10,737			500		6.7		—		—		95.1	207
(償還時)	(償還価額)												
43期(2022年12月27日)	9,985.11			—		△ 7.0		—		—		—	191

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準	価 額	債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	投 資 信 託 組 入 比 率
			騰 落 率			
第42期	(期 首) 2022年 6 月27日	円 銭 10,533	% —	% —	% —	% 94.9
	6 月末	10,385	△1.4	—	—	94.5
	7 月末	10,432	△1.0	—	—	94.8
	8 月末	10,664	1.2	—	—	95.0
	(期 末) 2022年 9 月27日	11,237	6.7	—	—	95.1
第43期	(期 首) 2022年 9 月27日	10,737	—	—	—	95.1
	9 月末	10,735	△0.0	—	—	94.5
	10 月末	11,080	3.2	—	—	94.9
	11 月末	10,176	△5.2	—	—	54.5
	(償還時) 2022年12月27日	(償還価額) 9,985.11	△7.0	—	—	—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み合わせるので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

運用経過

第1期～第43期：2012年4月10日～2022年12月27日

設定来の基準価額等の推移について

基準価額等の推移



第1期首	10,000円
第43期末	9,985.11円
既払分配金	6,400円
騰落率	77.0%

（分配金再投資ベース）

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の動き

償還価額は設定時に比べ77.0%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。

> 基準価額の主な変動要因

上昇要因

株式市場や債券市場の変動、実質的に投資している米ドルなどの外貨建資産通貨が対円で上昇したことなどがプラスに寄与しました。

第1期～第43期：2012年4月10日～2022年12月27日

投資環境について

▶ 株式市況

日本を含む先進国の株式市況は、信託期間を通してみると上昇しました。2020年2月から3月にかけて、新型コロナウイルスに対する懸念から一時的に株式市況が下落する局面もありましたが、米連邦準備制度理事会（F R B）や欧州中央銀行（E C B）による金融緩和や、新型コロナウイルスワクチンの普及を背景とした経済正常化への期待などから、上昇しました。2022年以降はF R Bが金融引き締めに移行すると株式市況も反落しましたが、信託期間を通してみると上昇しました。

▶ 債券市況

欧米の先進国や新興国の債券利回りは、信託期間を通してみると概ね上昇しました。新型コロナウイルスに対する懸念から、債券利回りが低下する局面もありましたが、物価上昇に対する懸念や、F R BやE C Bによる金融引き締めなどから、信託期間を通してみると債券利回りは上昇しました。日本では、日本銀行が金融緩和を続けたことなどから信託期間を通してみると債券利回りは低下しました。

▶ 商品市況

原油市況は新型コロナウイルスの影響による需要減少懸念などから、2020年に下落しました。その後はロシアによるウクライナ侵攻などをを受けて反発しましたが、信託期間を通してみると下落しました。金価格は、世界的な物価上昇などを背景に、信託期間を通してみると上昇しました。

▶ 為替市況

信託期間を通してみると、金利差の拡大などを受けて、米ドルやユーロは、対円で上昇しました。

▶ 国内短期金融市場

コール・レート（無担保・翌日物）は0%前後で推移しました。

設定時から2016年1月までのコール・レートは、日銀による金融緩和政策の影響を受けて、おおむね0.1%を下回る水準で推移しました。2016年2月のマイナス金利の適用開始以降は、おおむねマイナス圏での推移となり、足下のコール・レートは-0.053%となりました。

▶ 当該投資信託のポートフォリオについて

▶ 国際オルタナティブ戦略 Q T X - ウィントン・アルファ・インベストメント・オープン（円ヘッジなし）分配型

信託期間を通して、当ファンドは、外国投資法人であるQ T X W C M G D P F u n dが発行する円建の外国投資証券「Q T X W C M G D P F u n d（日本円建て、ヘッジ無）」への投資を通じて、主として、世界各国の様々な先物取引を活用するとともに、世界各国の株式にも実質的に投資を行いました。また、マネー・プール マザーファンド受益証券への投資も行いました。

最終作成期（2022年6月28日～信託終了日）は、前記の運用を維持し、償還に向けて、2022年12月上旬から中旬にかけてQ T X W C M G D P F u n d（日本円建て、ヘッジ無）、マネー・プール マザーファンドの売却を行いました。

▶ Q T X W C M G D P F u n d（日本円建て、ヘッジ無）

信託期間を通して、Q T X W C M G D P F u n dでは実質的にウィントン・キャピタル・マネジメント・リミテッド（以下「ウィントン社」）の「マネージド・フューチャーズ戦略」および

「株式運用戦略」により運用を行いました。両戦略への配分は、ポートフォリオのリスク等に鑑みウィントン社が決定し、主として、世界各国の株式や先物取引に実質的に投資を行いました。

▶ マネー・プール マザーファンド

信託期間を通して、コール・ローン等短期金融商品を活用し、利子等収益の確保を図りました。

▶ 当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

▶ 分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案し、第4期は700円、第5期は400円、第6期は300円、第7期は500円、第8期から第9期までは各200円、第10期は300円、第11期は1,400円、第12期は1,100円、第13期は300円、第15期は200円、第41期は300円、第42期は500円の分配とし、その他の期は見送りとさせていただきました。なお、信託期間中、累計で6,400円の分配を行わせていただきました。

分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第42期 2022年6月28日～2022年9月27日
当期分配金（対基準価額比率）	500 (4.450%)
当期の収益	500
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	736

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

▶ 償還価額

▶ 国際オルタナティブ戦略 QTX-ウィントン・アルファ・インベストメント・オープン（円ヘッジなし）分配型
償還価額は、9,985円11銭となりました。

信託期間中はご愛顧を賜り、誠にありがとうございました。

2022年6月28日～2022年12月27日

1 万口当たりの費用明細

項目	第42期～第43期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a)信 託 報 酬	66	0.623	(a)信託報酬＝作成期中の平均基準価額×信託報酬率×（作成期中の日数÷年間日数）
（ 投 信 会 社 ）	(29)	(0.276)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
（ 販 売 会 社 ）	(35)	(0.331)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	(2)	(0.017)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b)そ の 他 費 用	1	0.005	(b)その他費用＝作成期中のその他費用÷作成期中の平均受益権口数
（ 監 査 費 用 ）	(1)	(0.005)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
合 計	67	0.628	

作成期中の平均基準価額は、10,545円です。

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

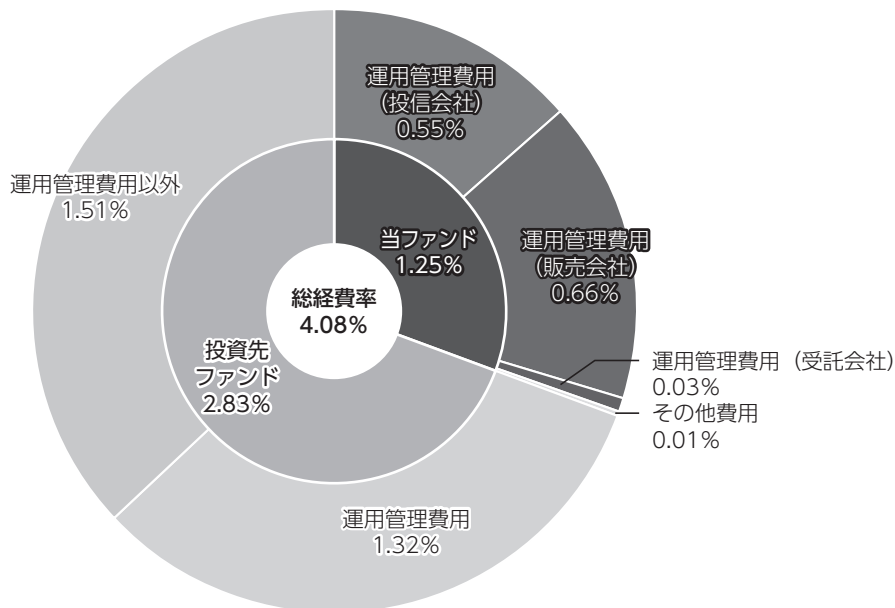
(注) 当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入れ上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

■総経費率

当作成対象期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を作成期中の平均受益権口数に作成期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は4.08%**です。



総経費率 (①+②+③)	(%)	4.08
①当ファンドの費用の比率	(%)	1.25
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	(%)	1.32
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	(%)	1.51

(注) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2022年6月28日～2022年12月27日)

投資信託証券

銘 柄		第42期～第43期			
		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
国 内	Q T X W C M G D P F u n d (日本円建て、ヘッジ無)	千口	千円	千口	千円
		0.9116	2,000	102	215,722
		(0.0044)	(ー)		

(注) 金額は受渡代金。

(注) ()内は分割・合併および償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄		第42期～第43期			
		設 定		解 約	
		口 数	金 額	口 数	金 額
マ ネー・プ ール	マ ザ ー フ ァ ン ド	千口	千円	千口	千円
		ー	ー	99	99

○利害関係人との取引状況等

(2022年6月28日～2022年12月27日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2022年12月27日現在)

信託終了日現在、有価証券等の組入れはございません。

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘 柄		第41期末	
		口 数	金 額
Q T X W C M G D P F u n d (日本円建て、ヘッジ無)		千口	千円
		101	101
合 計		101	101

親投資信託残高

銘	柄	第41期末	
		口	数
マネー・プール マザーファンド			千口 99

○投資信託財産の構成

(2022年12月27日現在)

項	目	償 還 時	
		評 価 額	比 率
		千円	%
	コール・ローン等、その他	192,130	100.0
	投資信託財産総額	192,130	100.0

○資産、負債、元本及び基準（償還）価額の状況

項	目	第42期末	償 還 時
		2022年9月27日現在	2022年12月27日現在
		円	円
(A) 資産		218,291,639	192,130,019
	コール・ローン等	20,553,445	192,130,019
	投資証券(評価額)	197,636,207	—
	マネー・プール マザーファンド(評価額)	99,939	—
	前払金	2,048	—
(B) 負債		10,450,029	635,756
	未払金	100,000	—
	未払収益分配金	9,679,173	—
	未払信託報酬	663,329	629,851
	未払利息	45	368
	その他未払費用	7,482	5,537
(C) 純資産総額(A－B)		207,841,610	191,494,263
	元本	193,583,467	191,779,848
	次期繰越損益金	14,258,143	—
	償還差損金	—	△ 285,585
(D) 受益権総口数		193,583,467口	191,779,848口
	1万口当たり基準価額(C／D)	10,737円	—
	1万口当たり償還価額(C／D)	—	9,985円11銭

○損益の状況

項 目	第42期	第43期
	2022年6月28日～ 2022年9月27日	2022年9月28日～ 2022年12月27日
	円	円
(A) 配当等収益	△ 920	△ 10,578
受取利息	6	3
支払利息	△ 926	△ 10,581
(B) 有価証券売買損益	14,290,747	△13,751,344
売買益	14,695,233	59,693
売買損	△ 404,486	△13,811,037
(C) 信託報酬等	△ 669,169	△ 635,388
(D) 当期損益金(A+B+C)	13,620,658	△14,397,310
(E) 前期繰越損益金	3,127,874	6,947,672
(F) 追加信託差損益金	7,188,784	7,164,053
(配当等相当額)	(4,044,171)	(4,062,320)
(売買損益相当額)	(3,144,613)	(3,101,733)
(G) 計(D+E+F)	23,937,316	—
(H) 収益分配金	△ 9,679,173	—
次期繰越損益金(G+H)	14,258,143	—
償還差損金(D+E+F+H)	—	△ 285,585
追加信託差損益金	7,188,784	—
(配当等相当額)	(4,044,171)	(—)
(売買損益相当額)	(3,144,613)	(—)
分配準備積立金	7,070,279	—
繰越損益金	△ 920	—

(注) (B) 有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<注記事項>

- ①作成期首（前作成期末）元本額 213,130,801円
作成期中追加設定元本額 2,247,430円
作成期中一部解約元本額 23,598,383円
また、1口当たり純資産額は、作成期末0.998511円です。
- ②純資産総額が元本額を下回っており、その差額は285,585円です。
- ③分配金の計算過程

項 目	2022年6月28日～ 2022年9月27日
費用控除後の配当等収益額	—円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	13,621,007円
収益調整金額	7,187,864円
分配準備積立金額	3,128,445円
当ファンドの分配対象収益額	23,937,316円
1万口当たり収益分配対象額	1,236円
1万口当たり分配金額	500円
収益分配金金額	9,679,173円

○投資信託財産運用総括表

信 託 期 間	投資信託契約締結日	2012年 4 月 10 日		投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2022年 12 月 27 日		資 産 総 額	192, 130, 019円
区 分	投資信託契約締結当初	投資信託契約終了時	差引増減または追加信託	負 債 総 額	635, 756円
				純 資 産 総 額	191, 494, 263円
受益権口数	3, 177, 012, 507口	191, 779, 848口	△2, 985, 232, 659口	受 益 権 口 数	191, 779, 848口
元 本 額	3, 177, 012, 507円	191, 779, 848円	△2, 985, 232, 659円	1 万口当たり償還金	9, 985円11銭
毎計算期末の状況					
計 算 期	元 本 額	純資産総額	基準価額	1 万口当たり分配金	
				金 額	分 配 率
第 3 期	1, 343, 762, 021円	1, 334, 960, 422円	9, 935円	0円	0%
第 4 期	797, 633, 715	860, 014, 988	10, 782	700	7
第 5 期	604, 085, 369	635, 734, 116	10, 524	400	4
第 6 期	532, 366, 924	552, 180, 333	10, 372	300	3
第 7 期	452, 102, 105	483, 222, 147	10, 688	500	5
第 8 期	430, 659, 607	440, 757, 162	10, 234	200	2
第 9 期	424, 291, 408	435, 063, 348	10, 254	200	2
第10期	406, 919, 581	428, 876, 816	10, 540	300	3
第11期	467, 906, 763	534, 079, 208	11, 414	1, 400	14
第12期	780, 185, 309	868, 599, 646	11, 133	1, 100	11
第13期	1, 772, 747, 102	1, 854, 962, 224	10, 464	300	3
第14期	2, 538, 957, 310	2, 593, 781, 128	10, 216	0	0
第15期	2, 397, 521, 653	2, 448, 666, 140	10, 213	200	2
第16期	2, 361, 828, 555	2, 165, 164, 579	9, 167	0	0
第17期	2, 142, 478, 014	1, 783, 254, 059	8, 323	0	0
第18期	1, 975, 197, 919	1, 618, 008, 936	8, 192	0	0
第19期	1, 694, 655, 437	1, 569, 631, 114	9, 262	0	0
第20期	1, 567, 457, 221	1, 408, 513, 264	8, 986	0	0
第21期	1, 246, 065, 708	1, 096, 892, 807	8, 803	0	0
第22期	1, 127, 873, 531	981, 848, 255	8, 705	0	0
第23期	1, 013, 742, 007	935, 817, 309	9, 231	0	0
第24期	945, 398, 740	813, 410, 810	8, 604	0	0
第25期	920, 936, 940	837, 275, 314	9, 092	0	0
第26期	898, 655, 739	837, 746, 737	9, 322	0	0
第27期	842, 815, 535	787, 162, 203	9, 340	0	0
第28期	815, 284, 188	733, 113, 970	8, 992	0	0
第29期	768, 665, 297	678, 726, 704	8, 830	0	0
第30期	748, 257, 733	679, 874, 210	9, 086	0	0
第31期	611, 641, 210	551, 489, 529	9, 017	0	0
第32期	572, 416, 288	498, 640, 796	8, 711	0	0
第33期	572, 416, 288	449, 582, 786	7, 854	0	0

計 算 期	元 本 額	純資産総額	基準価額	1 万口当たり分配金	
				金 額	分 配 率
第34期	563, 033, 071円	418, 811, 666円	7, 438円	0円	0%
第35期	398, 184, 078	293, 580, 858	7, 373	0	0
第36期	388, 081, 240	308, 969, 723	7, 961	0	0
第37期	242, 589, 212	196, 351, 760	8, 094	0	0
第38期	241, 149, 672	199, 935, 132	8, 291	0	0
第39期	237, 481, 456	194, 481, 297	8, 189	0	0
第40期	234, 960, 855	221, 394, 303	9, 423	0	0
第41期	213, 130, 801	224, 489, 201	10, 533	300	3
第42期	193, 583, 467	207, 841, 610	10, 737	500	5

○分配金のお知らせ

	第42期
1 万口当たり分配金（税込み）	500円

- ◆分配金は各決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。
- ◆分配金を再投資される方のお手取分配金は、各決算日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰り入れて再投資いたしました。
- ◆課税上の取り扱い
 - ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。
 - ・分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、残りの額が普通分配金となります。
 - ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
 - ・個人受益者が支払いを受ける収益分配金のうち普通分配金については配当所得として課税され、原則として、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率で源泉徴収（申告不要）されます。確定申告を行い、総合課税・申告分離課税を選択することもできます。
 - ・分配時において、外国税控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記と異なる場合があります。

※法人受益者に対する課税は異なります。

※課税上の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

※税法が改正された場合等には、上記内容が変更になることがあります。

※NISAおよびジュニアNISAをご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が一定期間非課税となります。

○償還金のお知らせ

1 万口当たり償還金（税込み）	9,985円11銭
-----------------	-----------

- ◆償還金は償還日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。
- ◆課税上の取り扱い
 - ・個人受益者の場合、償還価額から取得費（申込手数料（税込））を含みます。）を控除した利益（譲渡益）が譲渡所得等として課税され、原則として、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率による申告分離課税が適用されます。
 - ・特定口座（源泉徴収選択口座）を利用する場合、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率で源泉徴収され、原則として、申告は不要です。

※法人受益者に対する課税は異なります。

※課税上の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

※税法が改正された場合等には、上記内容が変更になることがあります。